

大会運営上・一般上の注意点（シニアオープン、ジュニアオープン共）

1. 大会は、平成30年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規定により行います。
2. 棄権がある場合は、事前に本部に申し出てください。
3. タイムテーブルには試合順序が表示されていますが、コート変更をお願いする場合があります。場内放送にご注意ください。
4. 選手がコートに揃ったら、後述のと通りの取扱いで、速やかに試合もしくは練習を開始してください。
5. ゲーム中の水分補給は、審判と相手選手に断りを入れ行ってください。容器については蓋付きのものをご使用ください。
6. 事故による応急処置は致しますが、その後の責任は参加者の負担で対応願います。
7. ゴミは、各自または各クラブ・チームの責任にてお持ち帰りください。
8. 大会会場でのコンセントの使用は禁止します。
9. 喫煙は、決められた場所でのみお願いいたします。
10. メインアリーナ観客席の最前列と二列目は応援席とさせていただきますので、荷物を置いての場所取りなどは行わないでください。また、着席での応援をお願いいたします。
11. 観客席前のガラスのフェンスには、手をおかけになることやもたれかかることなどの体重をかける行為を絶対にしないでください。最低限の強度はあるものの、寄りかかるまでの強度はなく、大変危険です。
12. サブアリーナの座席は、すべての席を応援席といたしますので、荷物などを置いての場所取りは控えてください。
13. 大会初日競技終了後の、翌日のための張り紙などでの場所取りはご遠慮願います。観客席にあるものは、不要物（ゴミ）・遺失物として取扱わせていただきます。（団旗のぞく）
14. また、大会全日程終了後の拾得物につきましても、全て不要物ゴミとして対応させていただきますので、お忘れ物には十分にご注意ください。
15. 観客席最上部にある、ランニングコースを使用する際のウォーミングアップを行う際に、ダッシュ等スピードのついた（衝突したときにケガをする恐れがある行為）ウォーミングアップは行わないでください。
16. ランニングコースを使用する際は、体育館シューズ（内履き）に履き替えてください。

競技上の注意

<シニアオープン>

1. すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を越えないインターバルを認めます。また、第1ゲームと第2ゲーム間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を越えないインターバルを認めます。
2. 各予選リーグの開始前に5分間の練習時間を設けます。3組リーグの場合は同時に、4組リーグの場合は第1試合前と第2試合前に練習してください。決勝リーグのみの部門についても同様とします。

<ジュニアオープン>

1. 21点先取のゲームは一方のサイドのスコアが11点になったとき（15点先取のゲームは一方のサイドが8点になったとき）、60秒を越えないインターバルを認めます。また、第1ゲームと第2ゲーム間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を越えないインターバルを認めます。
2. 予選リーグは同一部門の2リーグずつ各コートに入り、交互に1試合ずつ対戦することとします。
3. 予選リーグで続けて試合が行われる場合は、その対象選手の同意のもと次の試合を行うこととします。決勝トーナメントで続けて試合が行われる場合は、前の試合終了後より10分経過した後に試合コールをいたします。
4. すべての試合は随時空きコートをアナウンスする“流し込み方式”で行いますので試合のコールには十

分に注意してください。

※ 試合コール後5分で選手召集が無い場合は棄権したものとみなします。

5. 大会初日、開会式前の練習時間は設けませんので、競技フロアには立ち入らないようお願いいたします。また、試合前の練習も設けませんので、選手が揃い次第、試合を開始して下さい。
- 大会二日目は、8時10分より10分交代での練習時間を設けます。また、各試合前の練習時間は設けません。

リーグ戦の順位決定と得点について

<シニアオープン>

1. 得点

予選リーグ、決勝リーグ、決勝トーナメントとも 21点 3ゲーム

※20-20の場合は、2ポイント差がつくまでとします。ただしMAX30点とします。

2. 予選リーグ勝者決定方法

3組のリーグ戦

- ① 2勝した組が決勝トーナメントへ進出
- ② 全部が1勝1敗の場合は①得ゲーム数 ②得失点差 の順に勝者を決定します。全て同じ場合は、組の合計年齢が高い方を1位とします。

4組のリーグ戦

- ① 2勝が1組の場合は、その組が決勝トーナメントへ進出
- ② 2勝が2組の場合は、引続き2勝の組同士が直接対決(21点1ゲーム(MAX30点))を行い、勝者決定までリーグ内で実施します。
- ③ 全組が1勝1敗の場合は、①得ゲーム数 ②得失点差 ③得失点差の順に勝者を決定します。全てが同じ場合は、組の合計年齢が高い方を勝者とします。試合終了後に本部へ成績を提出、本部にて勝者を決定します。

3. 棄権の取扱い

4組のリーグで棄権があった場合には、出場する3組による総当たりでのリーグ戦に変更します。

4. 合計120歳以上、合計130歳以上の試合運営について

2つのカテゴリーを併せてリーグ戦を行います。120歳以上のペアと130歳以上のペアの試合はオープン戦扱いとさせていただきます。各リーグの120歳以上同士の対戦で勝ったペアが決勝戦に進出することとします。

<ジュニアオープン>

1. 試合方式

(予選リーグ)

〈得点〉21点 3ゲームマッチ (21点先取で延長ゲームはありません。)

※ ただし、年長と1年生以下の部については、15点 3ゲームマッチ(15点先取で延長ゲームはありません。)で行います。

※ 仮に、延長ゲームをしてしまった場合は、本部の判断に委ねることといたします。

(決勝トーナメント)

〈得点〉21点 3ゲームマッチ (MAX30点)

※ ただし、年長と1年生以下の部については、15点 3ゲームマッチ(MAX21点)で行

います。

※ コールされた選手は選手待機場（本部横）に集合してください。

〈予選リーグ勝者決定方法〉

3人のリーグ戦（試合順：①－②、②－③、①－③）

① 2勝した者が決勝トーナメントへ進出

② 全員が1勝1敗の場合は得失点差の順に勝者を決定します。得失点差が同じの場合は抽選により決勝トーナメント進出者を決定します。

4人のリーグ戦（試合順：①－②、③－④、各敗者同士、各勝者同士）

① 2勝した者が決勝トーナメントへ進出

2. 棄権の取扱いについて

4人のリーグで棄権があった場合には、出場する3人による総当たり戦に変更します。

3人のリーグで棄権があった場合には、残った2人で対戦し、敗者はもう一つのリーグの3位の選手と2試合目を行うこととします。

審判上の注意（シニアオープン、ジュニアオープン共）

1. 各リーグ戦の審判は、各リーグ参加者での相互審判をお願いします。

2. 特に競技規則第16条については、次のような行為にはご注意ください。

① 汗拭き、靴の紐の締め直しなどで故意にプレーを中断すること。

② サービスの体勢に入るまで（位置に付くまで）の時間が長すぎる時。

③ レシーブの体勢に入るまで（位置に付くまで）の時間が長すぎる時。

④ インターバルの時間を除き、シャトルがインプレーではないときに限り指示や助言などを受けることはできますが、アドバイスを受けるためにプレーを遅らす行為。

⑤ シャトルの羽根を折ったり、広げたりする行為。

⑥ 対戦相手に向かっての威嚇行為や侮辱行為。

3. シャトルの交換、汗を拭くなどは競技者で節度をもって対応ください。

〈シニアオープン〉

（予選・決勝リーグ）

① 予選・決勝ともリーグ戦は相互審判で行います。リーグ参加者で審判をしてください。

（決勝トーナメント）

① 決勝トーナメントについては、男子30代の試合は男子40代が、男子40代の試合は男子50代が男子50代の試合は女子30代が、女子30代の試合は男子30代がそれぞれ審判を担当するものとしますので、ご協力をお願いします（トーナメント進出者で調整してください）。また、本部で審判を用意することもあります。

〈ジュニアオープン〉

〈予選リーグ〉

① 予選リーグは、相互審判で行います。リーグ参加者で審判をしてください。

（審判に不安のある選手の場合、保護者の方等での審判協力をお願いいたします。）

〈決勝トーナメント〉

① 主審及び線審は大会本部でおこないます。

② 敗者は次の試合の得点係を行うこととします。

※初回戦のみ、大会本部より得点係をおこないます。